

## 2 火災の概要

### (1) 概 要

令和3年中における火災の概況は、出火件数611件、これらの火災による被害は、損害額13億3,189万8千円、死者37人、負傷者89人、焼損棟数498棟、建物焼損床面積19,469㎡、同表面積2,098㎡、林野焼損面積368a、り災世帯数294世帯、り災人員659人となっている。(表2-1)

○ 表2-1 令和3年中の火災の概況

区 分		令和3年	令和2年	増減数	増減率	
		(A)	(B)	(C)=A-B	(C/B*100)	
出火件数	建物火災	335件	316件	19件	6.0%	
	林野火災	18件	24件	△6件	△25.0%	
	車両火災	67件	56件	11件	19.6%	
	船舶火災	0件	0件	0件	0.0%	
	その他火災	191件	211件	△20件	△9.5%	
	計	611件	607件	4件	0.7%	
焼損棟数	全 焼	123棟	160棟	△37棟	23.1%	
	半 焼	41棟	26棟	15棟	57.7%	
	部分焼	137棟	146棟	△9棟	△6.2%	
	ぼ や	197棟	182棟	15棟	8.2%	
	計	498棟	514棟	△16棟	△3.1%	
焼損面積	建物	床面積	19,469㎡	25,591㎡	△6,122㎡	△23.9%
		表面積	2,098㎡	2,007㎡	91㎡	4.5%
	林 野	368a	186a	182a	97.8%	
死 者		37人	26人	11人	42.3%	
負 傷 者		89人	86人	3人	3.5%	
り災世帯	全 損	87世帯	81世帯	6世帯	7.4%	
	小 半 損	207世帯	214世帯	△7世帯	△3.3%	
	計	294世帯	295世帯	△1世帯	△0.3%	
り 災 人 員		659人	709人	△50人	△7.1%	
火災損害額	建物火災	建 物	860,253千円	1,502,525千円	△642,272千円	△42.7%
		収容物	410,182千円	930,921千円	△520,739千円	△55.9%
		計	1,270,435千円	2,433,446千円	△1,163,011千円	△47.8%
	林野火災	606千円	0千円	606千円	100.0%	
	車両火災	39,214千円	40,292千円	△1,078千円	△2.7%	
	船舶火災	0千円	0千円	0千円	0.0%	
	その他火災	21,555千円	10,136千円	11,419千円	112.7%	
	爆 発	88千円	1,754千円	△1,666千円	△95.0%	
	合 計	1,331,898千円	2,485,628千円	△1,153,730千円	△46.4%	
出火率 (人口1万人あたりの出火件数)		3.11件	3.07件			

出火件数を前年と比べると、総出火件数が4件(0.7%)の増加となっており、火災種別ごとに見ると、建物火災が19件(6.0%)、車両火災が11件(19.6%)増加し、その他火災が20件(△9.5%)、林野火災が6件(△25.0%)減少した。船舶火災は増減なし。

損害額を前年と比べると、総額が11億5,373万円(△46.4%)減少している。火災種別ごとに見ると、林野火災が60万6千円、その他火災が1141万9千円(112.7%)増加し、建物火災が11億6,301万1千円(△47.8%)、爆発が166万円6千円(△95.0%)、車両火災が1,07万8千円(△2.7%)減少した。

次に、令和3年中の火災を1日あたりで見ると、出火件数1.7件、損害額364万9千円、建物焼損棟数1.4棟、建物焼損床面積53.3㎡、建物焼損表面積5.7㎡、林野火災面積1.0aとなっている。(表2-2)

○ 表2-2 1日あたりの火災による損害

区分	単位	令和3年 (A)	令和2年 (B)	増減数 (A-B)
出火件数	件	1.7	1.7	0.0
損害額	千円	3,649.0	6,809.9	△3,160.9
建物焼損棟数	棟	1.4	1.4	0.0
建物焼損床面積	㎡	53.3	70.1	△16.8
建物焼損表面積	㎡	5.7	5.5	0.2
林野焼損面積	a	1.0	0.5	0.5

## (2) 出火件数

### ア 火災種別出火件数

出火件数を火災種別ごとで見ると、建物火災は構成比54.8%で最も高い比率を占めており、次いでその他の火災(堤防・河川敷・空き地等の枯れ草等の火災)、車両火災、林野火災(原野・牧野・天然林・人工林の火災)の順となっている。

前年構成比と比べると、建物火災及び車両火災が増加し、林野火災及びその他火災が減少した。(表2-3)

○ 表2-3 火災種別出火件数の構成比

	令和3年		令和2年	
	出火件数 (件)	構成比 (%)	出火件数 (件)	構成比 (%)
建物火災	335	54.8	316	52.0
林野火災	18	2.9	24	4.0
車両火災	67	11.0	56	9.2
船舶火災	0	0.0	0	0.0
その他の火災	191	31.3	211	34.8
計	611	100	607	100

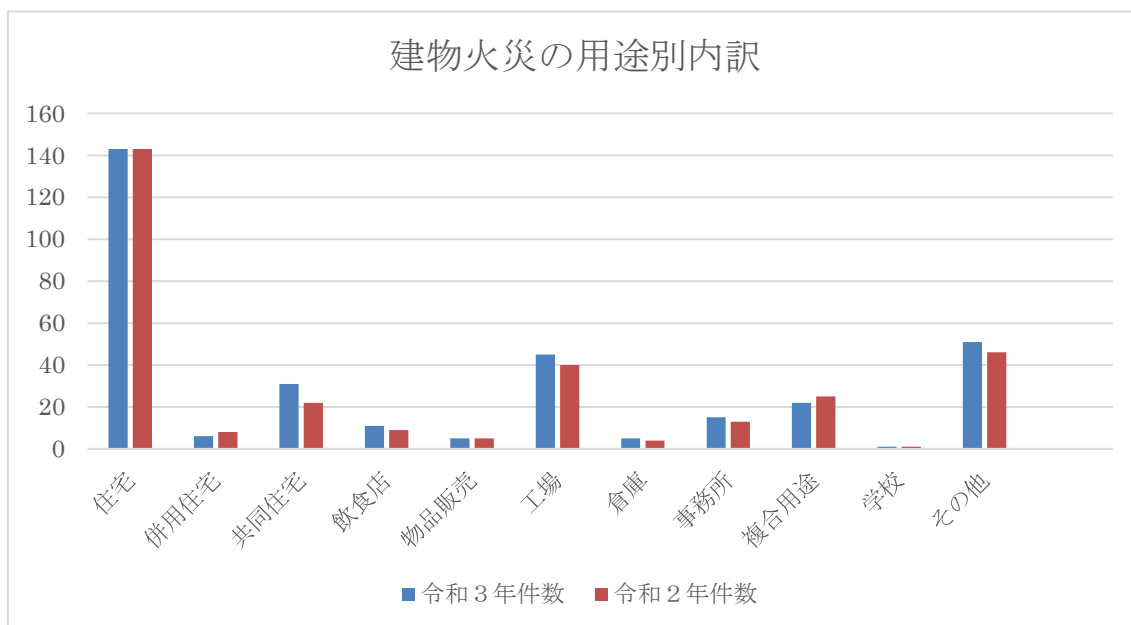
イ 建物火災の用途別内訳

建物火災の出火件数を建物の用途別で見ると、住宅が143件（42.7%）、併用住宅が6件（1.8%）、共同住宅が31件（9.3%）発生しており、これらを合わせると53.7%となり、建物火災全体の約半数を占めている。件数順では次いで工場、複合用途（一つの事務所で2種以上の異なった事業を兼ねて行っている等）の順となっている。

（表2-4）

○ 表2-4 建物火災の用途別内訳 【単位：件・%】

区 分		住宅	併用住宅	共同住宅	飲食店	物品販売	工場	倉庫	事務所	複合用途	学校	その他	合計
令和3年	件数	143	6	31	11	5	45	5	15	22	1	51	335
	構成比	42.7	1.8	9.3	3.3	1.5	13.4	1.5	4.5	6.6	0.3	15.2	100
令和2年	件数	143	8	22	9	5	40	4	13	25	1	46	316
	構成比	45.2	2.5	7.0	2.8	1.6	12.7	1.3	4.1	7.9	0.3	14.6	100



ウ 季節別出火件数

出火数を季節別にみると、1月～3月が197件（32.2%）と最も多く発生しており、次いで10月～12月148件（24.2%）、4月～6月142件（23.2%）、7月～9月124件（20.3%）の順となっている。

前年に比べると、4月～6月の比率は減少しているが、1月～3月、7月～9月、10月～12月の比率は増加している。（表2-5）

○ 表2-5 季節別出火状況

区 分		1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	合計
令和3年	出火件数 (件)	197	142	124	148	611
	構成比 (%)	32.2	23.2	20.3	24.2	100
令和2年	出火件数 (件)	179	189	98	141	607
	構成比 (%)	29.5	31.1	16.2	23.2	100

### (3) 出火原因

出火件数を出火原因別に見ると、たき火による火災が65件(10.6%)で1位となっている。続いて、たばこ52件(8.5%)、こんろ36件(5.9%)、火入れ32件(5.2%)の順となっている。

昨年と比べると、たき火が9件(16.1%)、たばこが9件(20.9%)及び配線器具が6件(75.0%)増加している。(表2-6)

○ 表2-6 出火原因別の出火件数と出火原因比率

【単位：件・%】

	令和3年(A)			令和2年(B)			増減	増減率
	順位	件数	構成比	順位	件数	構成比	(C)	(C/B)
							A-B	*100
たき火	1	65	10.6	1	56	9.3	9	16.1
こんろ	3	36	5.9	2	47	7.8	△11	△23.4
たばこ	2	52	8.5	3	43	7.1	9	20.9
放火	5	26	4.3	4	37	6.1	△11	△29.7
火入れ	4	32	5.2	5	36	5.9	△4	△11.1
電灯電話配線	5	26	4.3	6	28	4.6	△2	△7.1
放火の疑い	8	16	2.6	7	26	4.3	△10	△38.5
ストーブ	7	17	2.8	8	23	3.8	△6	△26.1
マッチ・ライター	9	15	2.5	9	16	2.6	△1	△6.3
焼却炉	11	8	1.3	10	13	2.1	△5	△38.5
配線器具	10	14	2.3	11	8	1.3	6	75.0
その他		222	36.3		215	35.4	7	3.3
不明(調査中を含む)		82	13.4		59	9.7	23	39.0
計		611	100		607	100	4	0.7

### (4) 損害額

令和3年中の火災による損害額は、13億3,189万8千円で、前年に比べ11億5,373万円減少している。

火災種別ごとの損害額は、建物火災によるものがほとんどで全体の95.4%を占めている。次いで、車両火災(2.9%)、その他火災(1.6%)の順となっている。

火災種別ごとに1件あたりの損害額を前年と比べると、林野火災が3万4千円、その他火災が5万7千円増加し、建物火災が21万7千円、車両火災が13万5千円減少している。(表2-7)

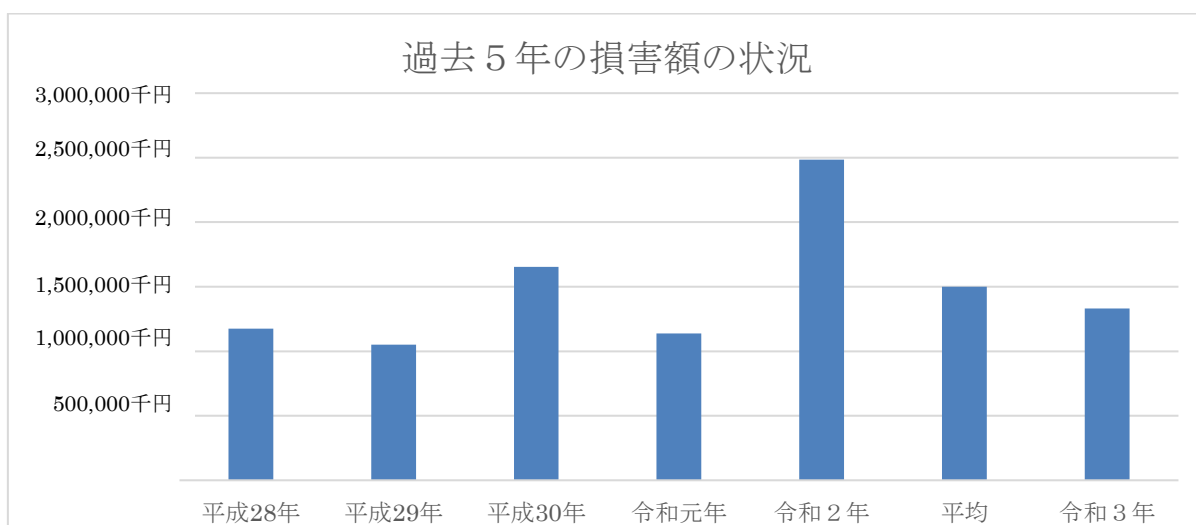
○ 表2-7 火災種別損害額【単位：千円・%】

	令和3年			令和2年			増減	
	損害額	1件	構成比	損害額	1件	構成比	1件	率
建物火災	1,270,435	3792	95.4	2,433,446	4,009	98.0	△217	△5.4
林野火災	606	34	0.0	0	0	0.0	34	100.0
車両火災	39,214	585	2.9	40,292	720	2.0	△135	△0.3
その他火災	21,643	113	1.6	11,890	56	0.0	57	101.8
計	1,331,898		100	2,485,628		100		

次に、令和3年中の火災による損害額を過去5年間の平均損害額と比べると、車両火災及び爆発は平均を下回っており、建物火災、林野火災及びその他火災総額は平均を上回っている。(表2-8)

○ 表2-8 過去5年間の損害額の状況【単位：千円】

	建物火災	林野火災	車両火災	その他火災 (船舶火災含む)	爆 発	総 額
平成28年	1,111,480	143	42,943	21,560	181	1,176,307
平成29年	1,009,575	73	29,981	9,474	702	1,049,805
平成30年	1,601,266	394	33,772	18,863	0	1,654,295
令和元年	1,067,121	261	55,520	13,921	0	1,136,823
令和2年	2,433,446	0	40,292	10,136	1,754	2,485,628
平均	1,444,578	174	40,501	14,791	527	1,500,572
令和3年	1,270,435	606	39,214	14,791	88	1,331,898



## (5) 火災による死者及び負傷者

### ア 火災種別ごとの死者数

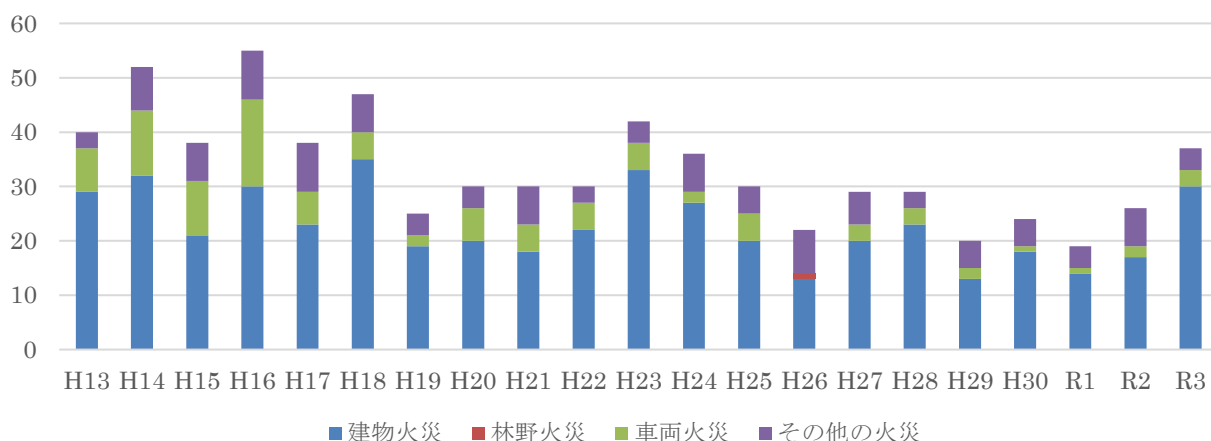
令和3年中の火災による死者数は37人で、前年より11人(42.3%)増加している。火災種別ごとの死者数は、建物火災によるものが30人で、死者総数の81.1%を占めている。次いでその他火災4人(10.8%)、車両火災3人(8.1%)の順となっている。

過去20年の平均と比べると、建物火災及び合計が平均を上回った。(表2-9)

○ 表2-9 火災種別ごとの死者数

区 分	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
建物火災	29	32	21	30	23	35	19	20	18	22	33
林野火災	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
車両火災	8	12	10	16	6	5	2	6	5	5	5
その他の火災 (船舶火災含む)	3	8	7	9	9	7	4	4	7	3	4
計	40	52	38	55	38	47	25	30	30	30	42
区 分	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	平均	R3
建物火災	27	20	13	20	23	13	18	14	17	23.9	30
林野火災	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0.1	0
車両火災	2	5	0	3	3	2	1	1	2	5.1	3
その他の火災 (船舶火災含む)	7	5	8	6	3	5	5	4	7	6.0	4
計	36	30	22	29	29	20	24	19	26	35.1	37

### 火災種別ごとの死者数



### イ 火災種別ごとの負傷者

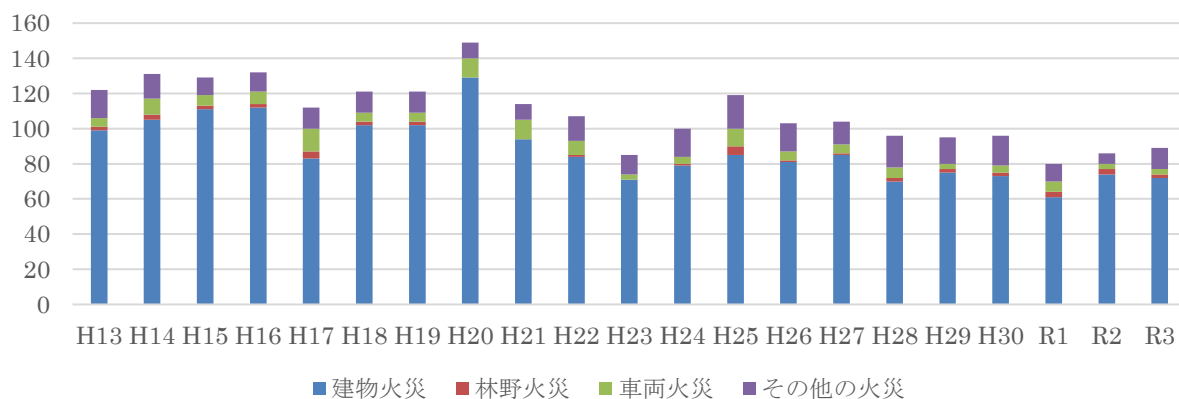
令和3年中の火災による負傷者は89人で前年に比べ3人(3.5%)増加している。火災種別ごとの負傷者は、建物火災によるものが72人で、負傷者総数の80.9%を占めている。次いでその他火災12人(13.5%)、車両火災が3人(3.4%)、林野火災が2人(2.2%)の順となっている。

過去20年間の平均と比べると、林野火災が平均を上回った。(表2-10)

○ 表2-10 火災種別ごとの負傷者

区分	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
建物火災	99	105	111	112	83	102	102	129	94	84	71
林野火災	2	3	2	2	4	2	2	0	0	1	0
車両火災	5	9	6	7	13	5	5	11	11	8	3
その他の火災 (船舶火災含む)	16	14	10	11	12	12	12	9	9	14	11
計	122	131	129	132	112	121	121	149	114	107	85
区分	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	平均	R3
建物火災	79	85	81	85	70	75	73	61	74	88.75	72
林野火災	1	5	1	1	2	2	2	3	3	1.9	2
車両火災	4	10	5	5	6	3	4	6	3	6.5	3
その他の火災 (船舶火災含む)	16	19	16	13	18	15	17	10	6	13.0	12
計	100	119	103	104	96	95	96	80	86	110.1	89

### 火災種別ごとの負傷数



ウ 火災による死者の生じた原因

死者の生じた原因は逃げ遅れ 15 人 (40.5%)、放火自殺 5 人 (13.5%)、着衣着火 2 人 (5.4%)、出火後再進入 1 人 (2.7%) の順となっている。(表 2-11)

○ 表 2-11 火災による死者の生じた原因【単位：人・%】

区 分	H28	H29	H30	R1	R2	平均	R3	構成比
逃 げ 遅 れ	10	4	6	9	6	7.0	15	40.5
出火後再進入	1	1	0	0	0	0.4	1	2.7
着 衣 着 火	1	4	2	0	2	1.8	2	5.4
放 火 自 殺	7	5	7	4	8	6.2	5	13.5
その他(不明・調査中)	10	6	9	6	10	8.2	14	37.8
計	29	20	24	19	26	23.6	37	100

エ 年齢別の死者数

年齢別の火災による死者は、65 歳以上が 22 人 (59.5%) と多く、次いで 6 歳から 64 歳が 15 人 (40.5%) の順となっている。(表 2-12)

○ 表 2-12 年齢別の死者数【単位：人・%】

区 分	H28	H29	H30	R1	R2	平均	R3	構成比
0 歳 ~ 5 歳	0	0	0	0	0	0	0	0.0
6 歳 ~ 64 歳	11	4	5	5	9	6.8	15	40.5
65 歳 以上	18	16	19	14	17	16.8	22	59.5
不 明	0	0	0	0	0	0	0	0.0
計	29	20	24	19	26	23.6	37	100

オ 火災による死者の生じた原因と死者の年齢別の関係

死者の生じた原因と死者の年齢別の関係を見ると、その他 (不明・調査中) を除き 6 歳から 64 歳、65 歳以上ともに逃げ遅れが最も多くなっている。(表 2-13)

○ 表 2-13 火災による死者の生じた原因と死者の年齢別の関係【単位：人】

区 分	0 歳~5 歳	6 歳~64	65 歳以上	不明	計
逃 げ 遅 れ	0	5	10	0	15
出火後再進入	0	0	1	0	1
着 衣 着 火	0	0	2	0	2
放 火 自 殺	0	4	1	0	5
その他(不明・調査中)	0	6	8	0	14
計	0	15	22	0	37

カ 死因別の状況

死因別の火災による死者数は、一酸化炭素中毒・窒息 15 人 (40.5%)、火傷 10 人 (27.0%)、自殺 5 人 (13.5%)、その他 1 人 (2.7%) となっている。(表 2-14)

○ 表 2-14 死因別の状況【単位：人・%】

区 分	H28	H29	H30	R1	R2	平均	R3	構成比
一酸化炭素中毒・窒息	11	2	4	5	3	5.0	15	40.5
火 傷	7	6	10	2	10	7.0	10	27.0
骨折・打撲等	0	0	0	0	0	0	0	0.0
自 殺	7	5	7	4	7	6	5	13.5
そ の 他	1	2	3	2	1	1.8	1	2.7
不 明	3	5	0	6	5	3.8	6	16.2
計	29	20	24	19	26	23.6	37	100

キ 死者の男女別の状況

男女の火災による死者数は、男性 30 人（81.1%）、女性 7 人（18.9%）となっている。（表 2-15）

○ 表 2-15 火災による男女別状況【単位：人・（ ） 構成比%】

区分	H27	H28	H29	H30	R1	R3
男性	20 (69.0)	15 (75.0)	9 (37.5)	12 (63.2)	17 (65.4)	30 (81.1)
女性	9 (31.0)	5 (25.0)	15 (62.5)	7 (62.8)	9 (34.6)	7 (18.9)
計	29	20	24	19	26	37

(6) 過去 20 年間の火災種別出火件数の推移

令和 3 年の出火件数は 611 件で、過去 20 年間の平均出火件数 868 件と比較すると、257 件少なくなっている。

火災種別ごとに見ると、建物火災 335 件、林野火災 18 件、車両火災 67 件及びその他の火災 191 件となっている。（表 2-16）

○ 表 2-16 過去 20 年間の火災種別出火件数の推移と平均

区 分	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
建物火災	555	560	529	539	524	488	529	494	443	417	418
林野火災	63	49	27	48	46	30	49	34	54	35	34
車両火災	167	146	151	151	133	134	112	125	119	95	90
船舶火災	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
その他の火災	375	357	235	314	266	337	332	299	329	255	299
計	1,160	1,112	942	1052	969	989	1022	952	945	802	842

区 分	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	平均	R3
建物火災	398	427	407	358	333	337	336	318	316	436	335
林野火災	21	49	33	17	21	27	33	24	24	36	18
車両火災	81	84	77	69	78	81	56	60	56	103	67
船舶火災	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の火災	257	403	351	230	254	222	300	222	211	292	191
計	757	963	869	674	686	667	725	624	607	868	611

過去20年間の火災種別出火件数の推移

